資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第 2 回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時：**2025 年 1 月 22 日（水）13 時 00 分～16 時 00 分

2. **場所：**東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
   JANPIA　事務所内　大会議室、Zoom

3. **審査委員（敬称略）**
   - 菅野 拓 大阪公立大学 大学院文学研究科 人間行動学専攻 准教授〈議長〉
   - 石田 祐 関西学院大学 人間福祉学部 教授
   - 山内 亮太 株式会社 ESCCA 代表取締役
   - 米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス 代表
   - 中嶋 弓子 任意団体 東京おでかけプロジェクト 代表
   - 審査事務局：JANPIA

4. **議題**

   2024 年度通常枠 第 2 回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. **申請の状況**
   （1） 草の根活動支援事業：16 団体　16 事業
   （2） 災害支援事業：10 団体　10 事業

6. **議事の前提**
   - 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
   - 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
   - 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
   - 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. **議事要旨**

   審査委員 5 名の出席により、菅野審査委員が議長を務め、審査を行った。 議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・山内亮太
　―特定非営利活動法 ReBit のコンソーシアム団体である特定非営利活動法人エティック
・石田 祐
　―公益財団法人地域創造基金さなぶり

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 3 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

- 認定特定非営利活動法人カタリバ
- 公益財団法人佐賀未来創造基金

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 一般社団法人居住支援全国ネットワーク
  - 事業実施にあたっては、横展開できるモデルとなるよう努め、また団体の持続可能性を高める取り組みを期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 7 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 株式会社 雨風太陽
- 一般社団法人 エコファーム推進機構
- 貴凛庁株式会社
- 公益財団法人 地域創造基金さなぶり
- 公益社団法人 日本サードセクター経営者協会

■　一般財団法人 防災教育推進協会
■　特定非営利活動法人 宮崎文化本舗

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 6 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■　公益財団法人泉北のまちと暮らしを考える財団
■　特定非営利活動法人 ReBit

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■　NPO 法人エデュケーションエーキューブ
・　これまでの団体の経験を活かした実行団体への伴走支援の実施を期待する。

■　一般社団法人さが・こども未来応援プロジェクト実行委員会
・　地域内の機関と資源をコーディネートすることは難易度が高いことから、十分のシミュレーションのもと団体の掘り起こしの実施を期待する。

■　一般財団法人 ちくご川コミュニティ財団
・　選定した実行団体の事業終了後の体制づくりに向けた、丁寧な伴走を期待する。

■　NPO 法人新座子育てネットワーク
・　多様性や持続可能性について、どのような状態を目指すのかなど、さらに明確な目標設定を期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 10 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■　特定非営利活動法人わかやまエヌピーオーセンター

■　一般社団法人ウェルビーイング政策研究所
■　一般社団法人わの会
■　公益財団法人国策研究会
■　特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク
■　公益財団法人ちばのＷＡ地域づくり基金
■　一般社団法人静岡ベンチャースタートアップ協会
■　一般財団法人ひだ財団
■　株式会社リビタ
■　特定非営利活動法人ムラのミライ

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第 2 回 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. **日時：**2025 年 1 月 23 日（水）10 時 00 分～13 時 00 分

2. **場所：**東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
   JANPIA　事務所内　大会議室、Zoom

3. **審査委員（敬称略）**
   ・山元 圭太 合同会社喜代七 代表〈議長〉
   ・町井 則雄 株式会社シンカ 代表取締役社長
   ・松川 倫子 TMatsu LLC 代表・CEO
   ・山本 未生 一般社団法人 World In You 代表理事
   ・審査事務局：JANPIA

   〈手元審査を実施した委員（審査会議は欠席)〉
   ・永沢 映 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事

4. **議題**
   2024 年度通常枠 第 2 回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査

5. **申請の状況**
   （1） ソーシャルビジネス形成支援：10 団体　10 事業
   （2） イノベーション企画支援 ：13 団体　13 事業

6. **議事の前提**
   - 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
   - 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
   - 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
   - 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員 4 名の出席により、山元審査委員が議長を務め、審査を行った。 議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。
なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

・山本 未生
―特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 1 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 株式会社キッチハイク
- 地域を巻き込み関係人口を増やしていく等について、事前評価等により精緻化されることを期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 9 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 一般社団法人創造遺産機構（HERITA）
■ 一般財団法人 town planning support group
■ 一般社団法人 SINKa
■ 一般財団法人ふくしま百年基金
■ 一般社団法人みらい観光デザイン機構
■ 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために
■ 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
■ 一般財団法人杉原千畝記念財団
■ イング総合計画株式会社

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

（1）JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 4 事業

以下の事業については、審査委員全員から推薦すべきとの意見があり、推薦することとした。

■ 一般社団法人グラミン日本

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

■ 株式会社キズキ
- 申請内容が進路支援に特化した事業設計となっている印象があることから、システムチェンジの視点を持って課題全体を捉えた支援の検討を期待する。

■ 特定非営利活動法人キッズドア
- 本採択枠の主旨を踏まえ、革新的な要素を意識し、本課題領域をけん引すべく事業に取り組んでいただくことを期待する。

■ 公益財団法人長野県みらい基金
- 様々なステークホルダーを巻き込んでコレクティブインパクトを生み出していくことが重要かつチャレンジングな取り組みとなるため、丁寧な伴走により成果につなげ、結果の分析と発信を取り組むことを期待する。

（2）推薦を見送ることとなった事業：以下の 9 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

■ 公益財団法人はまなす財団
■ 一般社団法人福岡デザインアクション
■ 株式会社ソシオエンジン・アソシエイツ
■ 一般社団法人宮崎オープンシティ推進協議会
■ 一般社団法人ＪＰ‐ＭＩＲＡＩ
■ 株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ
■ 一般社団法人全国食支援活動協力会
■ 認定特定非営利活動法人日本都市計画家協会
■ 一般社団法人全国古民家再生協会

以上